

こども「エコ活。」大作戦！2025 事業報告

1. 協賛金額 1,700,000円（88事業所）

2. 協賛金寄付先 国連WFPが行うコートジボワールでの環境保全活動

3. 結果報告・記者発表

本年度で22回目を迎えた本事業では、市内小学校83校、3,362名の児童が「エコ活。」に取り組んだとともに、企業・団体の皆様（88事業所）より、合計170万円と多くの協賛金が集まりました。ご協賛いただいた企業・団体の皆様、誠にありがとうございました。結果は、横浜市WEBページ及び記者発表にて報告されました。

・横浜市WEBページ：

https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/kankyohozen/kankyo_kyoiku/eco-katsu/2025.html

・記者発表：

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/kankyo/2025/1219ecokatsu.html>



また、協賛企業一覧は子ども環境情報紙エコチル横浜版2月号(<https://www.ecochil.net/about/>)に掲載しました。

4. 協賛金により支援する活動

国連WFPが行う食料支援を通じたコートジボワールでの環境保全活動に役立てられます。

「コートジボワール環境保全活動」（一例）

アフリカ西部に位置するコートジボワールは、気候変動による影響を受けやすい地域であり、生物多様性・農業・農家の生活に深刻な被害が及んでいます。

国連WFPは、土地緑化・保護や水源へのアクセス強化などの環境保全活動を通じて、コートジボワールの人びとの日々の生活をサポートしています。

【土地の緑化】 半月型農法を用いて雨水を溜め、緑を育てる

【水源へのアクセス】 太陽光発電を用いたポンプ式の水汲み場を整備し、農村での清潔な水へのアクセスを容易にする

【気候変動対策】 AI技術を活用しリアルタイムの気象情報を得るなど地域レベルで農家を支援し、農業コミュニティの持続可能で強靱な未来を築く



【お問い合わせ先】

横浜市環境保全協議会事務局（横浜商工会議所 産業振興部）エコ活担当

TEL：045-671-7470

MAIL：y-kankyou@yokohama-cci.or.jp